



小学校国語

平成30年度

全国学力・学習状況調査結果分析

富士見市の現状	課題	改善にむけて
<p>国語A:主として知識に関する問題 【読むこと】 ○登場人物の心情について、情景描写を基にとらえることに課題があります。</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○主語と述語の関係に注意して、文章を正しく書くことに課題があります。</p> <p>○文や文章の中で、漢字を正しく使うことに課題があります。</p>	<p>★登場人物の相互関係や、心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること</p> <p>★主語と述語や、修飾と被修飾との関係など、文の構成について理解すること</p> <p>★学年別漢字配当表に示されている漢字を、正しく読み書きすること</p>	<p>☆同じ作者の作品を比べて読むことや、心に残った叙述について考え、交流することなどを通して、優れた叙述に気付くことができるようにすることが大切です。</p> <p>☆文章を書くときに、どの事柄が必要か、内容に不足がないかを考えて書くことが大切です。相手に正確に伝えるために、書いた文章について、主語と述語との関係に注意しながら丁寧に読み返す習慣をつけることが大切です。</p> <p>☆該当学年で習う漢字を、ドリル等で繰り返し練習することや、日常生活の中で学習した漢字を使う習慣を身に付けることが大切です。</p>
<p>国語B:主として活用に関する問題 【話すこと・聞くこと】 ○互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合うことに課題があります。</p> <p>【書くこと】 ○目的や意図に応じて、必要な内容を整理して書くことに課題があります。 ※記述式解答の問題になると無回答率が高くなる傾向があります。</p>	<p>★話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること</p> <p>★資料を基に目的や意図に応じて、自分の考えを書くこと</p>	<p>☆事実と感想や意見を区別し、自分の立場を明確にして話すことが大切です。</p> <p>☆それぞれの資料から必要な情報を整理し、自分の考えと関連付けて書くことが大切です。</p>



小学校算数

平成30年度

全国学力・学習状況調査結果分析

富士見市の現状	課 題	改 善 に む け て
<p>算数A:主として知識に関する問題 【数と計算】【量と測定】 ○1あたりの分量を求めたり、込み具合を比べたりすることに課題があります。</p> <p>【図形】 ○分度器で180度を超える角度を測ることに課題があります。</p> <p>【数量関係】 ○示された事柄が当てはまるグラフを選ぶことに課題があります。</p>	<p>★割り算の式と答えの意味を理解すること</p> <p>★分度器で角度を測ること</p> <p>★折れ線グラフを読み取ること</p>	<p>☆割り算の式をもとに問題文を作成する練習が効果的です。</p> <p>☆単位量当たりの大きさを考えるときに何を1とするか考えて式を立て、答えが何を表すのか理解することが大切です。</p> <p>☆分度器で測る前に直角をもとにして何度くらいになるか見当をつけてから測り、確かめることが大切です。</p> <p>☆グラフで表すことのよさを実感したり、社会科などのグラフを見てわかることをまとめる練習をしたりすることが大切です。</p>
<p>算数B:主として活用に関する問題 【量と測定】【図形】 ○図形の構成要素や性質は理解できていますが、それを基に、事柄が成り立つことを言葉と数を用いて表すことに課題があります。</p> <p>【数と計算】【数量関係】 ○算数の問題場面からほかの人の考えを基に論理的、発展的に説明することに課題があります。</p>	<p>★論理的に考察し、数学的に表現すること</p> <p>★論理的に考察したことを式を用いて表すこと</p> <p>★発展的に考察したことを、式や図または文にして、数学的に表現すること</p>	<p>☆それぞれの数値が何を表しているのかを確認し、式と図を関連付けたり、筋道を考えたりして説明することが大切です。</p> <p>☆授業中の友達の考えを聞いて理解し、考え方をまとめることが大切です。</p> <p>☆似た問題を解いたり、考えを式に表したりすることが大切です。</p>



小学校理科

平成30年度

全国学力・学習状況調査結果分析

富士見市の現状	課 題	改 善 に む け て
<p>主として知識に関する問題</p> <p>【生命】 ○腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書くことに課題があります。</p> <p>【地球】 ○流れてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶことに課題があります。</p> <p>【物質】 ○ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、適切に操作する方法を選ぶことに課題があります。</p>	<p>★科学的な表現や考え方を理解すること</p> <p>★科学的な表現や考え方を理解すること</p> <p>★ろ過の適切な操作方を身に付けること</p>	<p>☆一連の問題解決の活動において、常に疑問に立ち返り、何を解決するための活動なのかを捉えることが大切です。</p> <p>☆主体的に野外観察やモデル実験等を行い、問題解決をした結果等を知識として習得することが大切です。</p> <p>☆観察、実験で実際に器具を使用することを通して操作方法を学び、どのような注意が必要かを考え、理解することが大切です。</p>
<p>主として活用に関する問題</p> <p>【エネルギー】【地球】 ○太陽の1日の位置の変化に合わせた光電池の適切な位置や向きを選ぶことに課題があります。</p> <p>【物質】【地球】 ○食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導き出す結論を書くことに課題があります。</p>	<p>★太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用すること</p> <p>★実験結果からわかることだけに言及した内容を記述すること</p>	<p>☆既習の内容や生活体験を、実際の自然や日常生活に適用させることが大切です。</p> <p>☆観察、実験で得られた結果を基に考察することが大切です。</p>



中学校国語

平成30年度

全国学力・学習状況調査結果分析

富士見市の現状	課題	改善にむけて
<p>国語A: 主として知識に関する問題 【話すこと・聞くこと】 ○話し合いの話題や方向を捉えて的確に話すことに課題があります。</p> <p>【書くこと】 ○書いた文章を読み返し、伝えたい文章が十分に表されているかを検討することに課題があります。</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○文の中における主語を捉えたり、主語を明示しながら適切に表現したりすることに課題があります。</p>	<p>★話し合いの話題や方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること</p> <p>★読み手の立場に立って書いた文章を読み返すこと</p> <p>★文の成分の順序や主語と述語の対応などを整えて書くこと</p>	<p>☆話し合いが課題の解決に向かうように進め方を提案したり、話し合いが効率よく進むように協力したりすることが大切です。</p> <p>☆書いた文章を読み返して、文や段落の接続の関係が適切であるかや、どのような説明や具体例を加えたらよいかを検討することが大切です。</p> <p>☆「書くこと」の学習との関連を図り、推敲の際に、伝えたいことを適切に表現するための語順や、主語・述語の対応などについて検討することが大切です。</p>
<p>国語B: 主として活用に関する問題 【読むこと】【書くこと】 ○目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことに課題があります。</p> <p>※記述式解答の問題になると無回答率が高くなる傾向にあります。</p>	<p>★文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、文章の構成や展開を捉えて内容を理解すること</p>	<p>☆段落ごとに内容を捉えたり、段落相互の関係を正しく押さえたりしながら、文章全体における役割を捉えるようにすることが大切です。</p>



中学校数学

平成30年度

全国学力・学習状況調査結果分析

富士見市の現状	課 題	改 善 に む け て
<p>数学A:主として知識に関する問題</p> <p>【数と式】</p> <p>○基本的な数式の計算は全国平均を上回っています。</p> <p>○方程式を解く際に用いられている等式の性質の理解に課題があります。</p> <p>【図形】</p> <p>○線対称や点対称の理解、具体的な操作と作図の結び付き、図形の移動とその関係を捉えることに課題があります。</p> <p>○三角形の合同条件、平行四辺形の性質の理解に課題があります。</p> <p>【資料の活用】</p> <p>○相対度数の変化の様子についての理解に課題があります。</p>	<p>☆方程式を解く場面における等式の性質の用い方について理解すること</p> <p>☆図形の特徴や性質について理解すること</p> <p>☆辺や角に着目し、三角形の合同条件を捉えたり、いろいろな四角形の関係を捉えたりすること</p> <p>☆多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解すること</p>	<p>★方程式を解く際の式の変形について、等式の性質を確認する場面をつくるのが大切です。</p> <p>★観察や操作する活動を通して図形がもつ特徴を数学的に捉え、その操作を基本的な作図と結び付けて考えることができるようにするのが大切です。</p> <p>★三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめるのが大切です。</p> <p>★観察や実験などの活動を通して、実感を伴って確率について理解するのが大切です。</p>
<p>数学B:主として活用に関する問題</p> <p>【関数】</p> <p>○グラフから必要な事項を読み取ることに課題があります。</p> <p>【図形】</p> <p>○証明の条件を変えた場合について一部を書き直したり、新たに条件が加わったときに新たな事柄を見出し説明したりすることができる。</p>	<p>☆グラフから必要な事項を読み取り事象を数学的に解釈すること</p> <p>☆証明を振り返り、発展的に考えること</p>	<p>★問題解決の方法を、数学的な表現を用いて説明できるようにするのが大切です。</p> <p>★証明問題に取り組む上で、結論を導くために欠かせない条件や性質を捉える場面を設定し、問題の条件を変えて発展的に考えることができるようにするのが大切です。</p>



中学校理科

平成30年度

全国学力・学習状況調査結果分析

富士見市の現状	課 題	改 善 に む け て
<p>主として知識に関する問題</p> <p>○自然事象についての知識・理解について全国平均を上回っているものがあります。</p> <p>【化学的領域】</p> <p>○アサリが出す砂の質量について、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能に課題があります。</p> <p>【物理的領域】</p> <p>○豆電球型のLEDライトが豆電球に比べて明るく点灯したことに疑問をもつ場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能に課題があります。</p> <p>【生物的領域】</p> <p>○植物と湿度の変化において、蒸散と湿度に関する知識・技能に課題があります。</p>	<p>☆濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度を指摘すること</p> <p>☆オームの法則を使って、抵抗の値を求めること</p> <p>☆植物の葉などから水蒸気が出る働きが、蒸散であるという知識を身に付けること</p>	<p>★物質が水に溶ける様子の観察から、水溶液の中では溶質が均一に分散していることを見いだすことが大切です。</p> <p>★金属線に加わる電圧と電流を測定する実験から、電圧と電流の関係を見だし、金属には、電気抵抗があることを見いだすことが大切です。</p> <p>★いろいろな植物を観察し、その観察記録に基づいて 葉、茎、根のつくりの基本的な特徴を見だし、光合成、呼吸、蒸散に関する実験結果と関連付けて捉えることが大切です。</p>
<p>主として活用に関する問題</p> <p>○科学的な思考・表現について全国平均を上回っています。</p> <p>【科学的領域】</p> <p>○ガスバーナーを使った燃焼を探求する場面において、実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することに課題があります。</p>	<p>☆化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明すること</p>	<p>★2種類の物質を化合させる実験について、化学変化を原子や分子のモデルで説明し、前後の化学変化を化学式や化学反応式で表せることが大切です。</p>